

製品名: リン酸化シナプシン I (Ser553) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87651**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000
分子量	Calculated MW:74 kDa; Observed MW:77 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-Synapsin I (Ser553)
別名	SYNI; SYN1a; SYN1b
遺伝子 ID	6853, 20964, 24949
SwissProt ID	P17600, O88935, P09951
免疫原	ヒトシナプシン I の Ser553 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

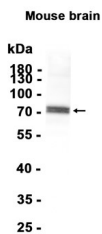
この遺伝子はシナプシン遺伝子ファミリーのメンバーです。シナプシンは、シナプス小胞の細胞質表面に結合する神経リン酸化タン

パク質をコードします。ファミリーのメンバーは共通のタンパク質ドメインを特徴とし、シナプス形成および神経伝達物質放出の調節に関与していることが示唆されており、いくつかの神経精神疾患における潜在的な役割を示唆しています。シナプシンファミリーのこのメンバーは、軸索形成およびシナプス形成の調節に役割を果たします。コードされるタンパク質は、いくつかの異なるタンパク質キナーゼの基質として機能し、リン酸化は神経終末におけるこのタンパク質の調節に機能している可能性があります。この遺伝子の変異は、レット症候群などの原発性神経変性を伴う X 連鎖疾患と関連している可能性があります。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



ホスホシナプシン I (Ser553) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。